令和８年分　給与所得者の保険料控除申告書

所轄税務署長	給与の支払者の名称（氏名）		（フリガナ）あなたの氏名	
	給与の支払者の法人番号	※この申告書の提出を受けた給与の支払者（個人を除きます。）が記載してください。		
税務署長	給与の支払者の所在地（住所）		あなたの住所又は居所	

記載のしかたはこちら　保

生命保険料控除

明細

	保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人の氏名	新・旧の区分	(a) あなたが本年中に支払った保険料等の金額（分配を受けた剰余金等の控除後の金額）	給与の支払者の確認
一般の生命保険料	○○生命	定期	10年	山田 太郎	山田 花子	新旧	(a) 60,000 円	
	△△生命	終身	終身	山田 太郎	山田 花子	新旧	(a) 40,000	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
介護医療保険料	○○生命	介護	終身	山田 太郎	山田 太郎		(a) 30,000 円	
							(a)	
							(a)	
個人年金保険料	□□生命	個人年金	20年	山田 太郎	山田 太郎	新旧	(a) 96,000 円	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	

a

(a)のうち新保険料等の金額の合計額 A 60,000 円

年齢23歳未満の扶養親族の有無 無 ／ 有

※年齢23歳未満の扶養親族を有する場合は、下の☆欄も記載してください。

(a)のうち旧保険料等の金額の合計額 B 40,000 円

(a)の金額の合計額 C 30,000 円

(a)のうち新保険料等の金額の合計額 D 96,000 円

(a)のうち旧保険料等の金額の合計額 E 円

Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等用）に当てはめて計算した金額 ① （最高40,000円） 35,000 円

Aの金額を下の計算式Ⅱ（年齢23歳未満の扶養親族を有する場合の新保険料等用）に当てはめて計算した金額 ② （最高60,000円） 円

Bの金額を下の計算式Ⅲ（旧保険料等用）に当てはめて計算した金額 ③ （最高50,000円） 32,500 円

Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等用）に当てはめて計算した金額 ㋺ （最高40,000円） 25,000 円

Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等用）に当てはめて計算した金額 ⑥ （最高40,000円） 40,000 円

Eの金額を下の計算式Ⅲ（旧保険料等用）に当てはめて計算した金額 ⑦ （最高50,000円） 円

計（①＋③） ④ （最高40,000円） 40,000 円

計（②＋③） ⑤ （最高60,000円） 円

③と④のいずれか大きい金額又は⑤の金額 ㋑ 40,000 円

計（⑥＋⑦） ⑧ （最高40,000円） 40,000 円

⑦と⑧のいずれか大きい金額 ㋩ 40,000 円

☆年齢23歳未満の扶養親族 （フリガナ）年齢23歳未満の扶養親族の氏名

左記の者の個人番号

あなたと左記の者の住所又は居所が異なる場合の左記の者の住所又は居所

左記の者の生年月日（平16.1.2以後生） 平・令 年 月 日

左記の者のあなたとの続柄

左記の者の本年中の合計所得金額の見積額 円

生命保険料控除額計（㋑＋㋺＋㋩）（最高120,000円） 合計 105,000 円

計算式Ⅰ（新保険料等用）※

A、C又はDの金額	控除額の計算式
20,000円以下	A、C又はDの全額
20,001円から40,000円まで	(A、C又はD)×1/2+10,000円
40,001円から80,000円まで	(A、C又はD)×1/4+20,000円
80,001円以上	一律に40,000円

計算式Ⅱ（年齢23歳未満の扶養親族を有する場合の新保険料等用）※

Aの金額	控除額の計算式
30,000円以下	Aの全額
30,001円から60,000円まで	A×1/2+15,000円
60,001円から120,000円まで	A×1/4+30,000円
120,001円以上	一律に60,000円

計算式Ⅲ（旧保険料等用）※

B又はEの金額	控除額の計算式
25,000円以下	B又はEの全額
25,001円から50,000円まで	(B又はE)×1/2+12,500円
50,001円から100,000円まで	(B又はE)×1/4+25,000円
100,001円以上	一律に50,000円

※　控除額の計算において算出した金額に１円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

地震保険料控除

保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の契約者の氏名 / 保険等の対象となった家屋等に居住又は家財を利用している者等の氏名	地震保険料又は旧長期損害保険料区分	(Ⓐ) あなたが本年中に支払った保険料等のうち、左欄の区分に係る金額（分配を受けた剰余金等の控除後の金額）	給与の支払者の確認
				地震・旧長期	円	
				地震・旧長期		

Ⓐのうち地震保険料の金額の合計額　Ⓑ 円

Ⓐのうち旧長期損害保険料の金額の合計額　Ⓒ 円

地震保険料控除額 = （Ⓑの金額（最高50,000円） 円）＋（Ⓒの金額（Ⓒの金額が10,000円を超える場合は、Ⓒ × 1/2+5,000 円 ）※（最高15,000円） 円）

（最高50,000円） 円

社会保険料控除

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人の氏名	あなたが本年中に支払った保険料の金額
			円
合計（控除額）			円

小規模企業共済等掛金控除

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計（控除額）	円

◎この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。